

コード	101030101
記入日	H21.5.20

事務事業途中評価表

課コード	117
課名	観光物産課
課長名	中島紀昌
担当者	武石英理子

作成年度	平成 21 年度
------	----------

評価対象事業名称	観光宣伝事業費	事業種類	単年度繰返事業
		事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	7
施策コード	101	施策名称	魅せる観光のしまづくり	項コード	1
基本事業コード	10103	基本事業名称	観光地としての情報発信の充実	目コード	3
事務事業コード	1010301	事務事業名称	観光宣伝事業費	細目コード	895
関連計画			法令・条例規則等		

計画 (PLAN)						※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。									
対象: 誰、何を対象にしているのか						対象指標: 対象の大きさを表す指標									
(対象1) 新聞、雑誌、テレビ、ラジオ						(対象指標1) 新聞1、雑誌1、テレビ1、ラジオ1									
(対象2)						(対象指標2)									
事業の概要: 具体的なやり方、手順、詳細を記入						活動指標: 事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)									
(全体)			(評価年度実績)			(指標名称)		(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)				
*****			新聞3(120万部): 長崎新聞社東京支社・共同通信社・西日本新聞社／雑誌9(150万部): 新潮社・エース出版・ながさきプレス・小学館2・クリム編集部・エルフ・スターツ出版・オレンジページ／テレビ7: 長崎県観光連盟・ネクサス・テレビ朝日・NHK長崎放送局2・日本テレビ・RKB／ラジオ1: NHKラジオ長崎／インターネット1: 株コアラ 計21回			*****		*****	*****	紹介回数21回÷計画回数15回	*****				
						紹介記事数		21回	140%		平成20年度				
						① (達成率分析)		平成19年度の実績を踏まえ、15回の指標にしていたが、無料掲載・取材対応が増え、指標を上回る観光宣伝活動ができています。							
						② (達成率分析)									
目的: 何をしたいのか						成果指標: 目的の達成度を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)									
新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等のマスメディアを利用して、上五島の歴史文化、食文化、自然景観を紹介することにより、上五島の知名度UP・魅力発信に寄与する。						(指標名称)		(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)				
						*****		*****	*****	掲載部数270万部÷計画した掲載部数200万部	*****				
						掲載部数		270万	135%		平成20年度				
						① (達成率分析)		無料で掲載する新聞・ラジオ・テレビ等のマスメディアを利用し、指数を上げた結果となった。							
						② (達成率分析)									

実施 (DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。											
	単位	全体計画		平成19年度以前	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 回	34	40	19	15	21					
	②										
成果指標	① 万部	430	500	230	200	270					
	②										
総事業費C (A+B)		千円	12,384	12,377	8,037	4,347	4,340				
直接事業費 A		千円	1,884	1,877	1,037	847	840				
人件費 B		千円	10,500	10,500	7,000	3,500	3,500				
内訳	従事職員数	人	1.5	1.5	1.0	0.5	0.5				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源		千円	12,384	12,377	8,037	4,347	4,340				

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	新上五島町のPR・観光振興のためであり、行うべきである。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	現代は情報化時代であり、マスメディアを使ったPR活動は、効果が高く観光振興のためには必要不可欠である。
	事業の対象・目的は適切ですか。	● 適切 ● 不適切	理由	観光振興のためには、宣伝活動は必要不可欠であり、適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	新聞・テレビ等各マスメディアで本町のことを知った、という問合せが増えてきている。
	成果を向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	活動を活発化させ、情報提供をすればする程反響は大きい。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	● ある ● ない	理由	本町の宣伝ができず、観光客の数は減少し地域経済が低迷する。
	類似事業との整理統合はできませんか。	できる ● できない	理由	単一の事業であり、他の事業との整理統合はできない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	できる ● できない	理由	現在最小限の予算であり、これ以上削減すると情報発信ができなくなる。
	人件費を削減することはできませんか。	できる ● できない	理由	写真や記事をメールでやり取りできるようになり、効率は上がったが、最小限の人員であり、削減することはできない。
	受益者負担は適正ですか。	● はい ● いいえ	理由	直接的な受益者負担は発生しない。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	新上五島町の宣伝であり、観光・物産に大きく影響し、地域経済の活性化のためには必要である。
		有効性	現代は情報化時代であり、マスメディアを使ったPR活動は大きな影響力がある。これを継続していくことで、新上五島町の認知度や魅力を十分に発信できる。
		効率性	マスメディアへの掲載、放送には多大な費用がかかる。費用を抑えながら無料取材をうまく利用し、低コストを目指す。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおりに
		有効性	1次評価のとおりに
		効率性	1次評価のとおりに

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。